

すべての看護教員におススメ！
教育の基本から実践まで、コンパクトかつ簡潔に



授業時間外学習を促す



課題の明確な指示

- 課題の内容、分量、提出方法 など
- 各回の授業計画との関連を示す

学習支援についての情報提供

- 参考文献や補助教材の情報
- 教員やティーチングアシスタントによる支援

- ・ 1回の授業を組み立てる
 - ① 導入・展開・まとめで組み立てる
 - ② 講義の学習指導案を作成する
 - ③ 演習の学習指導案を作成する
- ・ シラバスを作成する
 - ① シラバスとその役割を理解する
 - ② 授業の目的と学習目標を定める
 - ③ 授業計画と支援方法を定める
 - ④ 成績評価の方法を定める
- ・ 教育観を明確にする
- ・ 学生に伝わる説明をする
 - ① 学生の理解を促すように説明する
 - ② 話し方を工夫する
- ・ 発問で学習を促す
 - ① 発問の機能を理解する
 - ② 効果的に発問する

- ・ 授業のスライドを作成する
- ・ 板書を効果的に活用する
- ・ 教科書を効果的に活用する
- ・ 配付資料を活用する
- ・ リアリティのある教材を活用する
- ・ 学生同士の学び合いを促す
- ・ 臨地実習における学習を支援する
- ・ 授業時間外の課題を作成する
- ・ 学生の学習を評価する
 - ① 筆記テストを作成する
 - ② 筆記テストで評価する
 - ③ 実技テストを設計する
 - ④ 実技テストの評価基準を設定する
 - ⑤ レポート課題を作成する
 - ⑥ レポート課題を評価する

学習の原理を理解する
学習意欲の原理を理解する
学生の発達を理解する
授業設計の定義と意義
授業設計の理論的枠組み
学習意欲を高める授業設計
複数教員による授業の設計
授業活動の配列を工夫する
初回の授業を工夫する
最終回の授業を工夫する
多様な学習者に配慮する
学生へのフィードバックを工夫する
効果的な振り返りを支援する
コーチングで学生の学習を引き出す
協働学習を取り入れる
体験からの学習を促す
ルーブリックを作成する
教育における倫理を理解する
授業を改善する



豪華講師陣！

中井俊樹
服部律子
嶋崎和代
西野毅朗
竹中喜一

動画コンテンツは、一部視聴制限がございます。
ご契約施設はすべてご視聴可能です。

ルーブリックやパフォーマンス評価など、
今の教員に求められる知識と実践をわかりやすく！
「知りたかった」がここにある！



時代の変化と教育
教育と評価
ブルームの教育目標分類学（タキソノミー）
ルーブリックの必要性
ルーブリックの基本
ルーブリックを使った採点
ルーブリックを使った授業改善の現状
問いかけ [作成編]に向けて

COMING SOON!

基礎編の後は作成編へ！

パフォーマンス評価の考え方
パフォーマンス評価とは何か
パフォーマンス課題とは何か
パフォーマンス課題の作り方 1、2
パフォーマンス評価における評価基準
評価基準（ルーブリック）の作り方
ルーブリック作りから指導の改善へ
評価を活かした指導の改善
単元における指導の展開・1、2
ポートフォリオ評価法の進め方
ポートフォリオ評価法の基本
教職課程ポートフォリオの実践



COMING SOON!

総論編の後は実践編へ！



グループ全体がディスカッションに
参加できるようになるには
ねらい通りにグループでの
ディスカッションを実現するには
学生への質問に効果的に対応するには
1人で進める学習とグループで進める学習
学生の態度を評価できるルーブリックを作るには

動画コンテンツは、一部視聴制限がございます。
ご契約施設はすべてご視聴可能です。

学生とのかかわりかた、見直してみませんか
成人学習理論や、発達障害の傾向をもつ学生への対応、動機づけ面接などをわかりやすくご紹介！

- 第1回 成人学習理論とは
- 第2回 自己決定性と自己決定型学習
- 第3回 経験の尊重
- 第4回 意識変容の学習
- 第5回 省察的实践
- 第6回 実践と理論の往還



- 第1回 学習者支援とは
- 第2回 対応が難しい学習者とは
- 第3回 発達障害とは
- 第4回 事例で学ぶ理解と支援
- 第5回 キャリア支援と学内外連携
- 第6回 発達障害およびその傾向がある学生の遠隔授業

動機づけ面接とは何か
動機づけ面接のスピリット
動機づけ面接のスキル
動機づけ面接の原理
チェンジトークと維持トーク
開かれた質問
是認
聞き返し



- 第1回 実習の場を再考する
- 第2回 実習における看護教員の役割
- 第3回 実習のエピソードを見つける

動画コンテンツは、一部視聴制限がございます。
ご契約施設はすべてご視聴可能です。

学生の研究を支え、文章力や論理的思考を養うために



- 第1回 学生の書く「文」の指導に困っていませんか？
- 第2回 主語と述語
- 第3回 単純な構成の文
- 第4回 就職先をはっきりさせよう
- 第5回 構造が複雑で、修飾先のわかりにくい文の修正
- 第6回 使ってはいけない表現
- 第7回 並立関係に注意しよう
- 第8回 正しい言葉づかいを

- 第1章：学生の書いたレポートが理解できないという経験はありませんか？
- 第2章：実は接続詞が大事なんです
- 第3章：改めて接続詞について確認してみましょう：順接の接続詞
- 第4章：逆接の接続詞
- 第5章：帰結を導く接続詞、理由を述べる接続詞
- 第6章：論理とはそもそも何でしょう？
- 第7章：どうして論理的になれないのでしょうか？
- 第8章：「根拠、だから、主張（結論）」のペア
- 第9章：文章から論証を取り出す方法
- 第10章：根拠、だから、主張（結論）、なぜなら論拠
- 第11章：議論、論証における論拠の役割とその重要性



- 総論
- 第1回 研究テーマを絞り込む
- 第2回 研究テーマの絞り込みを体験する
- 各論：研究テーマの絞り込みで陥りやすい問題
- 第1回 業務改善と研究を混同しているような場合
- 第2回 すでに過去に研究の集積があるのではないか
- 第3回 関連性のない現象同士が、なぜか、つながっている
- 第4回 明らかに問題が生じていないと思われる
看護師の看護実践を問題視している
- 第5回 看護的な視点で
現象を追求しているとは思えないような場合
- 第6回 研究疑問を導き出すための思考は
論理的に踏まれているだろうか

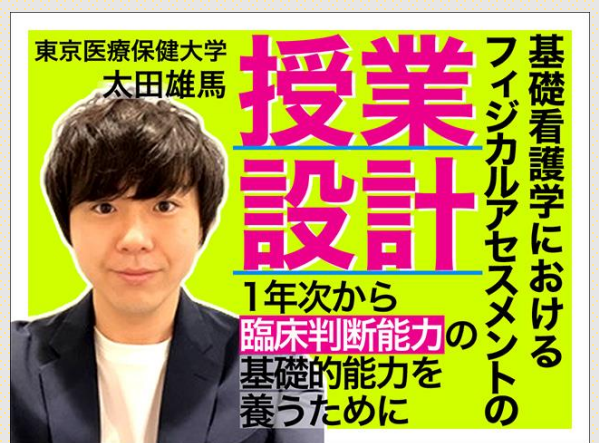
- 第1回 『靴ひも』
- 第2回 『ブレス しあわせの呼吸』
- 第3回 『AI崩壊』
- 第4回 『フェアウェル』
- 第5回 『ブラックバード』



動画コンテンツは、一部視聴制限がございます。
ご契約施設はすべてご視聴可能です。

全国さまざまな教育機関のカリキュラムや授業実践も多数紹介。実際の授業が見える！

- 第1回 ARCSモデルに基づく 学生の注意・関心を引き出す専門基礎分野のオリエンテーション
- 第2回 学習環境設計に基づく 学生が学びの環境を意識できる科目オリエンテーション
- 第3回 経験学習モデルに基づく 学内演習と臨地実習の学びのサイクルとなる往還型実習科目のルーブリック
- 第4回 逆向き設計・評価方略に基づく パフォーマンスの学習成果を可視化する往還型実習科目のルーブリック
- 第5回 9教授事象・反転授業に基づく 知識と思考・判断・表現の統合をめざす目標・評価・教材の選択
- 第6回 教育のパラダイムシフト 個別最適な学びと協働的な学びを促すオリエンテーション
- 第7回 学修成果を可視化する診断的・形成的・総括的評価を組み込んだシミュレーション教育
- 第8回 真正な学習経験を高めるための真正な学習環境・課題・経験・アセスメント・成果を取り入れた授業設計 シミュレーションの授業設計とパイロットテスト
- 第9回 教育デザイン研究の理論と実践 教育用電子カルテからの情報収集の授業設計



動画コンテンツは、一部視聴制限がございます。
ご契約施設はすべてご視聴可能です。

海外の第一線で活躍されている実践家、理論家から
NEO独自のインタビュー動画も多数掲載



米国で求められる看護師像
米国における臨床判断能力の育成
米国看護師試験NCLEX-RNの変遷を踏まえて
臨床判断能力を伸ばす教育現場での工夫
臨床と教育をいかにつなげるか
看護教育と臨床のギャップを埋める

学修の考え方の見直し
状況に応じたコーチングの重要性
実践はそれ自体が知るための方法である
学びにおける感情の重要性
パンデミックにおける学び
教員にもとめられるかかわり



倫理的な感性とは何か
倫理的な感性と安全な場
医療者の癒しが生じるには
看護師を守るための倫理の実装
医療者のセルフケア
「ケアの倫理」の喜び、希望



「気づく」より前にあるもの
「気づく」をどう伝えるか
「臨床判断」を学ぶ困難さ
看護師を守るための倫理の実装
2つの思考回路で人は考える
「考える」を育むこと



動画コンテンツは、一部視聴制限がございます。
ご契約施設はすべてご視聴可能です。

看護教育の未来を考える、 注目のコンテンツがまだまだ他にも！



- 学生が主体的・積極的に学んでいくための教員のかかわり
- ・看護教育学を主専攻に
— 千葉大学看護学部と普遍教育センター
 - ・「主体的に学ぶ学生」を育成する
 - ・念願だったサバティカル研修
 - ・勉強に没頭した1年間
 - ・シラバスに自己学習課題が含まれているアメリカの大学
主体的な学びにつながる内容をシラバスに組み込み
単位と結びつけること
 - ・主体的に学んだ卒業研究
 - ・もう一度、教えるチャンス
 - ・自己学習課題を含んだ授業の実践
変化に対応できる看護師を育てる
 - ・看護師の問題解決行動へとつながる自己教育力

- ・看護学教育における
コンセプトアプローチの導入の背景
- ・コンセプトに基づく学習
(概念型学習) のめざすもの
- ・日本の看護教育への導入と
移行期の課題



- 川嶋みどり先生 × 池西 静江先生
坂本すが先生 × 佐藤尚治先生
大島弓子先生 × 安酸史子先生
任和子先生 × 竹熊カツマタ麻子先生

今後の更新予定

- 教育評価に役立つルーブリック講座 作成編 北川明先生
30分でわかる 経験型実習教育 安酸史子先生
看護教育のためのパフォーマンス評価 実践編 糸賀暢子先生
※予定は変更の可能性があります。

動画コンテンツは、一部視聴制限がございます。
ご契約施設はすべてご視聴可能です。